

研究実施のお知らせ

2023 年 03 月 23 日 ver.1.0

研究課題名

Raman 分光法を用いた髄液の分光分析

研究の対象となる方

対象となりますのは 2015 年 1 月から 2020 年 7 月の間に当院で多発性硬化症、視神経脊髄炎、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー型認知症など、中枢神経及び末梢神経疾患が疑われた方です。その中で研究等管理番号 20200825-3「髄液を用いた神経疾患に関連した蛋白・脂質の分析」に同意され、髄液検査を行った方が対象です。

また、検査時の年齢が 20 歳以上の方です。

研究の目的・意義

多くの神経疾患（特に炎症性疾患、変性疾患など）では診断困難なことが多く、髄液を用いて炎症活動性のモニタリングや神経疾患関連蛋白・脂質濃度測定が行われ、病勢判定や確定診断の補助として使用されています。今回は新たに Raman 分光法という手法を用いて疾患の診断や病勢を検索出来ないか研究します。

研究の方法

島根大学医学部内科学講座第三内で冷凍保存されている髄液をプレパラート上で乾燥させます。試料は医学部研究分担者が総合理工学部へ直接輸送、または郵送します。その後、総合理工学部内にあります Raman 分光器を用いて Raman 分光法を測定します。測定後、プレパラートは即座に破棄します。データは他の PC には接続しない専用の USB に移行し、島根大学医学部内科学講座第三の PC 内で保存します。

また、電子カルテからは患者背景(年齢、性別、診断名、臨床症状、内服薬)、臨床検査項目(血液学的検査、生化学的検査)、画像検査結果といった情報を参照します。

研究の期間

本研究の研究期間は、2023 年 5 月 30 日から 2027 年 3 月 31 日までです。

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その

際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者：

島根大学医学部内科学講座第三 長井 篤

共同研究機関

[研究機関]	[研究責任者]	[研究機関の長]
島根大学医学部附属病院	長井 篤	鬼形 和道
島根大学総合理工学部	藤田 恭久	伊藤 文彦

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年8月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座第三 長井 篤
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2198 FAX 0853-20-2194

島根大学総合理工学部 藤田 恭久
〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060
電話 0852-32-6257 FAX 0852-32-6257

事務局：

島根大学医学部内科学講座第三 有竹 洵
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2198 FAX 0853-20-2194